

平成 27 年度第一回 ISO/TC46/SC4 国内委員会議事録

1. 日時：2015 年 7 月 16 日(木)14 時から 16 時
2. 場所：情報科学技術協会
(東京都文京区小石川 2-5-7 佐佐木ビル 4F)

3. 出席者：

委員	宮澤彰	国立情報学研究所 (SC4 リーダ)
	五十嵐健一	慶應義塾大学
	大向一輝	国立情報学研究所
	大場高志	日本図書館協会
	長田孝治	株式会社ロゴヴィスタ
	橋詰秋子	国立国会図書館
	小島裕一	株式会社リコー
	村田良二	東京国立博物館
事務局	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料：

- 資料 1：平成 26 年度 ISO/TC46/SC4 国内委員会第二回委員会議事録
- 資料 2：平成 27 年度社会ニーズ (安全・安心)・国際幹事等輩出分野に係る
国際標準化活動実施計画書
- 資料 3：(別添) 規格要約票
- 資料 4：前回委員会(2015/1/16)以降の ISO/TC46/SC9 投票済案件と審議案件
- 資料 5：ISO/TC46/SC4 報告
- 資料 6：ISO/TC46/SC4/EPUBJWG 報告
- 資料 7：ISO/TC46/SC4/WG15 報告
- 資料 8：ISO/TC46/WG3 報告
- 資料 9：ISO/TC46 総会報告

5. 議題：

5-1) 前回議事録の確認と今回の議事録の作成者

前回の議事録を確認した。

5-2) 平成 27 年度実施計画及び国際提案のための体制作り

事務局及び、宮澤リーダーより、資料 2 および 3 を用いて、経済産業省より委託を受けた三菱総研からの再委託として本委員会で実施する計画について、平成 27 年度 (本年

度)より3年間の実施計画の解説がなされた。具体的には、これまで通り審議を進めることはもちろん、ILII(International library item identifier)をIS(International Standard)まで持って行くこと、また、新規に1件をDIS(Draft International Standard)まで持って行くことを計画し実施することが報告された。(この新規分についての規格要約票が資料3)

5-3)ISO/TC46/SC4 投票報告と審議案件

資料4に基づいて前回委員会以降に投票した案件3件、現在審議中の案件2件について事務局と宮澤リーダより説明があった。審議中の案件については、以下の通り審議を進めることとなった。

案件1(ISO 8777:1993[vers 4])「Commands for interactive text searching」についてのSR案件。日本でこの標準に準拠した仕組みを利用している機関はもはやないと思われるが、過去利用していた実績として関連機関としては国立情報学研究所が一番関連があったと思われる。担当委員を決め、状況を調査するとともに回答原案を作成し、委員会で審議を行う。原案作成は2015年8月中とする。なお、JIS X 0803:1995としても規格化されている。

案件2(ISO 12083:1994[vers 4])「Electronic manuscript preparation and markup」についてのSR案件。担当委員より解説があり、XMLが規格化されるよりも以前の規格で、過去JIS規格であったが廃止されている。担当委員が、状況を調査するとともに回答原案を作成し、委員会で審議を行う。原案作成は2015年8月中とする。

5-4) 2015年ISO/TC46北京総会報告

宮澤リーダより2015年6月第一週到北京で開催されたISO/TC46の総会について報告があった。詳細は資料の5-9に詳しいが、併せてWGレベルではメンバー登録がないと、総会での報告以外の情報が収集できなくなっているため、必要に応じてメンバー登録する必要があること、が報告された。

5-5) 今後の国際標準化提案について

この3年間の後に、再度検討すべき国際標準についてどんなものが必要になるか、を自由に話す場が設けられ、自由に議論が行われた。著者識別子、東アジア圏における卷子本などを電子化した際に付与するタイプについて、行政などですでに進められているような共通語彙基盤、などが挙げられ議論された。

5-6) その他

特になし

(以上)